

～～青少年委員はこんな活動をしています～～

青梅市青少年委員は各小学校区に各1名選出された委員16名で活動をしています。

活動報告（令和二年度後期）

- ・集まれ！おうめっ子 ・青梅市小・中学生の主張大会審査員 ・管内研修 【実施】
- ・多摩第3ブロック研修【延期】
- ・成人式への協力 ・東京都青少年委員大会【コロナの影響で中止】

※その他、子ども会活動・PTA活動・各市民センターのお手伝いもしていますので、気軽に声をかけてください。

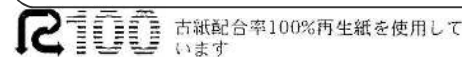
青梅市青少年委員名簿

白井敬子 成木市民センター	小野寺洋智 小曾木市民センター	樋口篤史 東青梅市民センター	増田透 大門市民センター	中山誠一 今井市民センター	佐藤直美 今井市民センター
渡辺淳一 沢井市民センター	菅尚美 梅郷市民センター	内田紀弘 青梅市民センター	豊田奨 東青梅市民センター	高野一樹 大門・新町市民センター	阿多洋和 新町市民センター
		廣瀬善規 長淵市民センター	奈良野佳世子 長淵市民センター	古賀勝 新町市民センター	岡部真紀 新町市民センター

編集 青梅市青少年委員協議会
発行 青梅市教育委員会社会教育課
青梅市東青梅1-11-1
Tel 0428-22-1111

令和二年度後期の活動事例の紹介です。
「みらい」への御意見・御要望をお待ちしております。

〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1
青梅市教育委員会社会教育課「青少年委員担当」まで



青梅市青少年委員だより

令和3年3月15日 第64号

みらい



青梅市青少年委員協議会

副会長 佐藤 直美

私が青少年委員になってから8年、任期満了を迎えもう少して卒業です。いろいろありがとうございました。
 青少年委員は各学校区から1名が選出され16名で青少年健全育成を目的に活動しています。委員は皆それぞれに得意分野を持ち、色々な研修などを通じてスキルや情報を共有しています。今はコロナ禍の中、子どもたちは何事にもガマンガマンの生活を強いられ、ストレスで元気が無くなってしまったように感じます。
 今まで多くの子もたちとの出会いがあり、沢山の事を学んできました。ついつい手を出してしまいがちですが、一歩引いて見守ることで達成感を得た子どもが喜んで目を輝かせている姿を見ると、こちらまで胸が熱くなるのがとても多かったです。子どもたちが家庭や学校ではなかなか体験できないことを企画し、笑顔で元気に成長する姿を見守り少しでも応援したいと思います。
 また、緊急事態宣言発令のため成人式が中止になってしまいとても残念でしたが、今年成人を迎えられた皆さん、おめでとうございます。皆さんの今後の人生がさらに輝くことを祈っています。毎年成人式ではタイムカプセルの返還に立ち会うことで、何年も前に関わった子どもたちが立派に成長した姿で現れ、笑顔で声をかけてくれると、とても嬉しく懐かしく、「おめでとう」の言葉をかけたついでに、ついつい話し込んでしまうことも多くありました。
 今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

活動の紹介

『集まれ！おうめっ子～木こりの巻』

11月22日(日)

小春日和の晴天に恵まれた11月22日、NPO法人 青梅林業研究グループの後援を受け、「あまがさすの森（成木地区）」に於いて「集まれ！おうめっ子～木こりの巻～」を開催しました。

コロナ禍の影響を受け、残念ながら半日間のプログラムとなってしまいましたが、市内小中学生19人に対して間伐体験や丸太切りを行いました。

又、山のプロフェッショナルの方々からのお話を聞き、郷土の森で今起きている事やその対応策について考えてもらうきっかけを提供する事が出来ました。



『青梅市小・中学生の主張大会』

12月5日(土)

今年の主張大会は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、主張者とご家族、また審査員・関係者のみで開催する運びとなりました。

選ばれた小・中学生の発表者の多くはマスクを使用し、演台上に設置されたパーテーション越しの主張となりました。

主張後のインターバルには関係者が念入りに消毒を行い、間隔をあけて安全に配慮しながらの主張大会となりました。マスクは表情が出にくく、声がこもってしまうため、意識して大きな表現で主張する様子が印象的でした。

審査員は短時間で公平に審査し点数をつける必要があり、緊張感を持って臨んでいました。

どの主張者もテーマに沿った原案を棒読みにするのではなく、堂々とし、のびのびと思いつきの形でしっかり表現していたことに圧倒され、感動する大会でした。

『委員管内研修』

9月26日(土)

今年度の青少年委員研修は管外研修を予定していましたが、感染予防を考慮し中止となりました。しかし代替研修として、コロナの終息を願い銅板で折鶴を作成しました。硬い板に道具を使い、筋を付けたり、切ったり、折ったりと、折り紙と違った工程に委員一同慣れない手つきで苦戦しながらも、少しずつ形になっていくのを楽しみつつ作成しました。願いを込めて完成した鶴は個性豊かに飛び立とうとしているようでした。子供たちにも広がるように、また実施できることが望まれます。

様々な制限がある中で、これからも感染予防を徹底し今だからこそ出来るやり方を考え活動して参ります。



研修委員の感想

💡 コロナ禍での管内研修は「高尾の森 わくわくビレッジ」から「銅板折り鶴づくり」に変更しました。研修部会の増田部長が講師をしてくださり、私たち生徒は教えてもらった通りに作業をしているにも関わらず、それぞれ雰囲気の違い折り鶴に仕上がりが楽しかったです。道具をうまく使いこなせず手伝ってもらいながらも出来上がった鶴はリビングに飾り、コロナが早く終息するようお願いを込めています。貴重な体験をありがとうございました。

(岡部)

💡 今年度の委員管内研修は16名で課題の「銅板で鶴を折る」です。銅板は比較的柔らかいものですが、金属なので意外と難しい。10cm角の板にケガキ針で折線を付けた後切ったり折ったり、一度折ると跡が残るので慎重に、尚且つ大胆に四苦八苦しながら作業を進め完成を目指しました。

完成後は皆で品評会。「やはり物作りは面白い」全員が同じ物を同じ工程で作業しているにも関わらず、一つ一つの表情が結構違い、個性が出ているのがとても良い。自分の鶴の出来栄は、少し右に傾いてしまったが結構満足している。今回はいつも以上に自分たちが楽しんでしまった研修でした。

(豊田)

◎多摩第3ブロック研修 9月26日(土) 来年度に延期

昨年は青梅市が担当地区で、ネッツたまぐーセンター（文化交流センター）で開催予定でしたが、一年の延期となりました。

◎青梅市成人式 1月11日(月祝) 中止

◎東京都青少年委員会大会 2月21日(日) 中止

今年のはめぐろパーシモンホールで、講師に星山麻木先生を迎えて行われる予定でしたが、中止となりました。星山先生は明星大学教育学部の教授で、今回、『「困った」子?いいえ「困ってる」子です ～よき理解者・支援者となる為に～』というテーマで講演される予定でした。